

令和5年度 栗木台小学校 学校評価報告書

学校教育目標 豊かな心を持ち たくましく生きる 栗木台の子

○進んで学ぶ子 ○心あたたかい子 ○高めあう子 ○元気な子

学校経営の目標

○学び合う学校づくり（学びの育ち）

～子どもたちに学ぶ喜びを・教職員が共に学び合い高め合う～

○支え合う学校づくり（心の育ち）

～子どもたち自身が協力し合いながら活動を進める姿をめざす～

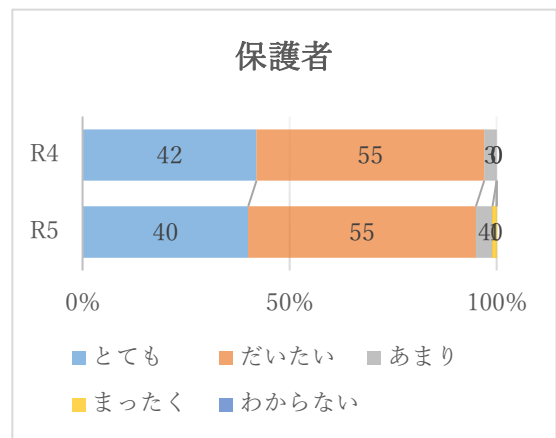
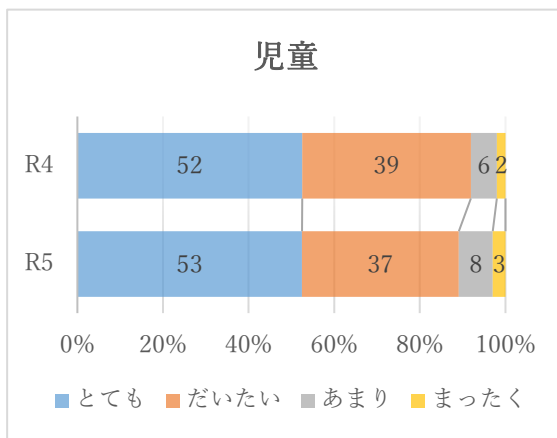
～一人ひとりを大切にしたい学校をめざす～

○安心安全な学校づくり（安心・安全）

～安心で安全な学校をめざす～

～教職員・保護者・地域が互いに信頼し支え合い、開かれた学校をめざす～

児童の学校生活について、児童には「学校生活は楽しいですか」、保護者には「お子さんは学校生活を楽しく思っていますか」という質問を設定しました。



児童の学校生活

【成果と課題】

「とても思う」「だいたい思う」という肯定的に回答した児童が90%、保護者が95%でしたので、概ね良い結果と捉えています。重点目標である「友達とのかかわりの中での学びを深め「やればできる」を実感できる授業づくりや自己肯定感や自己有用感を高める、一人一人を大切にしたい学校づくりへの取り組みが、肯定的回答につながっていると考えられます。

しかし、1割の児童が否定的な回答をしています。今までも、教職員は児童一人一人を丁寧に見取り、必要な支援をし続けてきましたが、今後も、さらに児童理解に努め、児童一人一人に寄り添っていく必要があると考えます。児童からの相談に適切に対応し、保護者と連携して児童理解に努め、児童の不安感や困り感を取り除いていきたいと思えます。児童が「今日も学校が楽しかった」「明日も学校に行きたい」と思える学校づくりを目指します。

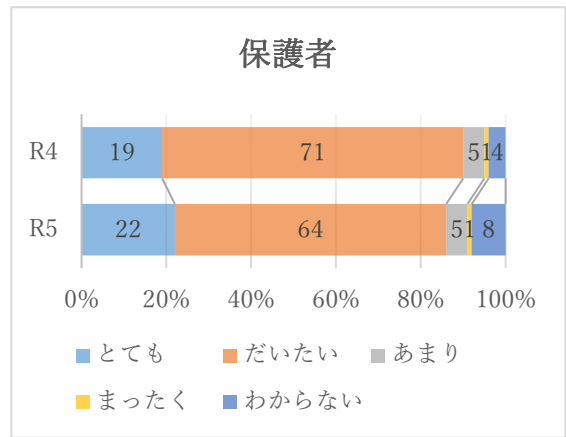
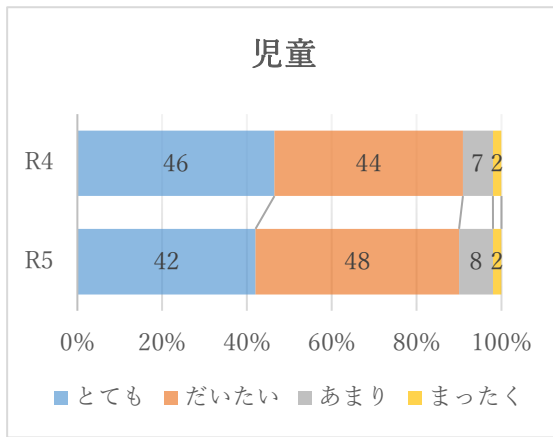
基礎学力の定着と活用・授業力向上
学び合う学校

【具体的な取り組み】

子どもたちがいきいきと活動し、学ぶことの喜びや充実感を味わい、楽しく豊かに学び合い、心から「わかった」といえる授業づくりを促進します。

ICT 端末を最大限に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実した授業改善につなげます。

校内で積極的に研修を行い、各自の指導力を向上させ、学校単位で組織的な教育レベルの底上げをねらいます。



【成果と課題】

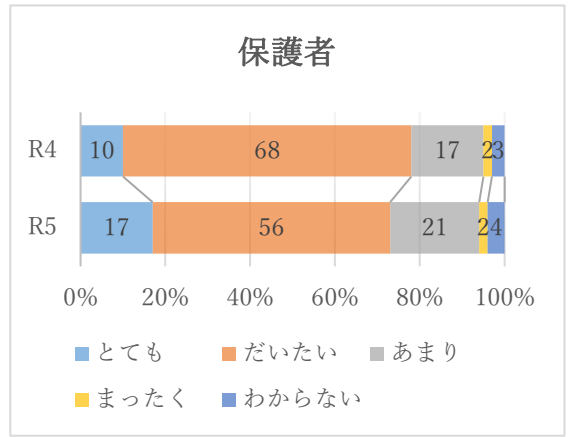
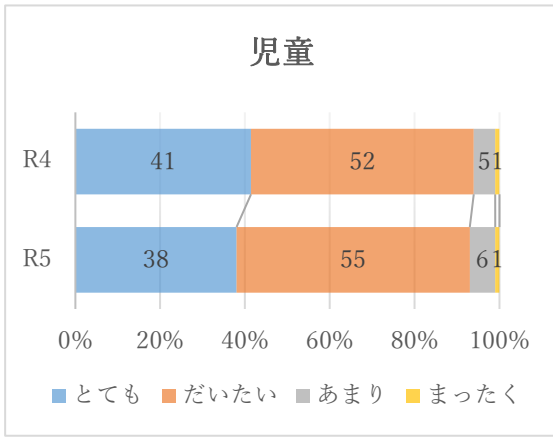
児童アンケートでは、授業中に「わかった」「できた」と感じるものが「とてもある」「だいたいある」という肯定的な回答が90%見られました。教員一人一人が児童理解をした上で教材研究を進め、わかる楽しさやできる喜びを感じられる授業改善を行っていると評価できます。しかし「あまりない」「まったくない」との回答が10%でした。また、新川崎市学習状況調査で「算数の授業がよくわかる」と答えた4年の約90%に対して、6年では約70%まで下がっていました。学習に不安を感じている児童や学年が上がるにつれ困難さを抱える児童にどう支援していくかが今後の課題です。

今後も、児童が「何を学ぶのかがわかる」「何ができるようになるかがわかる」ために、学習課題や学び合いのめあてを明確に提示し、「何を考えればいいのかかわかる」「何を表現すればいいのかかわかる」ために、自分で評価ができるように判断基準を明確に示しながら、わかりやすい授業を心掛けていきます。さらに、個別学習・グループ別学習・繰り返し学習・習熟の程度に応じた学習・児童の興味関心等に応じた課題学習・補充的な学習・発展的な学習などの様々な学習を取り入れたり、教師間の協力による指導体制を工夫したりしていきます。また、個別指導や入り込み指導を続け、学習に不安を感じている児童への可能な限り個別支援を行いたいと考えています。

【具体的な取り組み】

「自分の考えをもって表現し、伝え合う子を目指して」を研究テーマにし、今年度は、「読むこと」に絞り、研究を進めています。サブテーマを「言葉って面白い 読むって楽しい もっと伝えたい 気持ちを大切に」とし、新たに言葉を獲得すること、考えること、想像すること、友達と意見を共有することの楽しさを十分味わえるよう進めていきたいと思っています。読書についても、継続、積み重ねを大事にし、読書好きな児童が更に増えるよう取り組んでいきます。

国語科指導法の研究



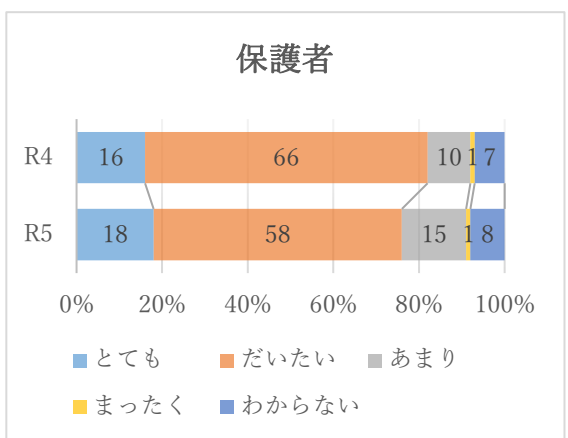
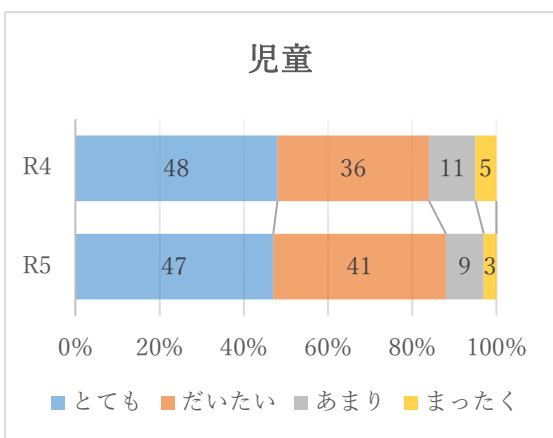
【成果と課題】

「読む」＝言葉の獲得 考えること・想像することは楽しい。新しい言葉を知り、語彙を増やし自分の気持ちや考えがより伝わりやすくなる術を身に付けていくことは、国語の時間に限ったことではありません。しかし、その一端を担っていることには変わりはなく、教材を深く読み取る力を獲得することで、子どもたちの読解力をつくと考えます。集団で学習するよさは、たくさんの意見を見聞きしより広い考え方に気付くことにあります。「よい聞き手」が「よい話し手」を育て、「よい話し手」が学習の深まりを生むと言われていました。今一度学校全体で栗木台小学校の聴く力・話す力のスタンダードに立ち戻り、「あたたかな聴き方・やさしい話し方」を全ての学習で定着していくよう努めなければならないと考えます。

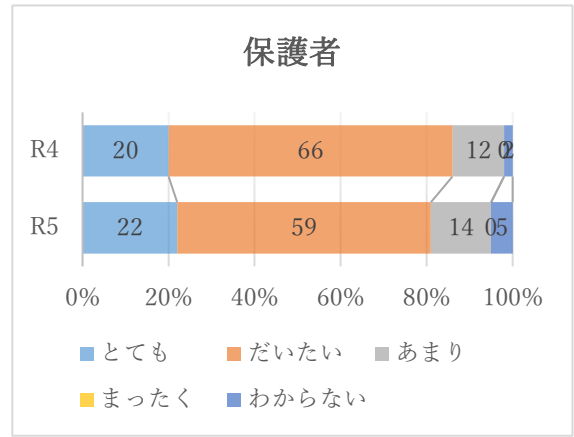
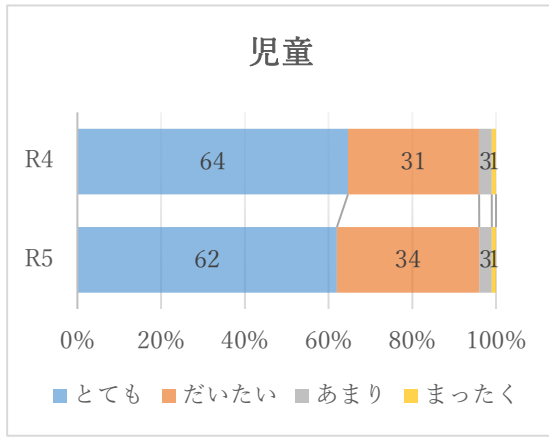
2年生以上の児童に「言葉の宝箱」冊子を配付しました。お道具箱の中に常時入れておけるサイズで、6年生までに獲得してほしい言葉についてまとめてあります。豊かな読み書きができるように活用していきたいと思えます。栗木台小学校が目指す対話の系統性【児童用】を一人ずつに配付し、教室にも掲示していきます。低中高学年それぞれでねらう力を明記することで、段階をおって力がついていくことが可視化されています。時程の変更により、朝読書の時間を確保していきます。特に高学年は、委員会活動などが入り読み聞かせのボランティアさんに変更をお願いすることがありました。来年度は、どの学年も計画的に読み聞かせをお願いしていきたいです。

【具体的な取り組み】

一人一人の見取りを大事にすると共に、個のニーズに合わせた支援教育を行っていきます。複数の職員で学習支援にあたりたり、個別指導したりするなど職員同士が情報を交換し合い、より適切な指導法を検討し実践します。



		<p>【成果と課題】</p> <p>「学習中にわからないことがあるときには友達や先生、ボランティアさんなどに聞いて解決することができた。」の問いに対して、とてもそう思う・そう思うを合わせて約90%の回答（児童）になっています。児童が安心して学べる学級環境作りに心がけてきたこと、また、一人一人の学びを見取るための学習評価のあり方を全職員で研修し、必要な支援ができたことが成果につながったと思います。</p> <p>今後も「わかる」「できる」をめざした授業作りをしていきたいと思います。また、GIGA 端末の有効活用することで個別最適な学びを実現させていきたいと思います。</p>																																	
支え合う学校	一人ひとりを大切に した学校	<p>【具体的な取り組み】</p> <p>道徳教育全体計画及び人権教育全体計画に基づいた学びを実施することで子ども達の自己有用感を育み、安心して過ごすことができる学校、学級をめざします。支援教育コーディネーターを中心に多くの目で子どもたちを指導し、教育的ニーズを踏まえた適切な支援をしていきます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="279 672 837 1108"> <p style="text-align: center;">児童</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>とても</th> <th>だいたい</th> <th>あまり</th> <th>まったく</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>57</td> <td>38</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>55</td> <td>40</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="861 672 1420 1108"> <p style="text-align: center;">保護者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>とても</th> <th>だいたい</th> <th>あまり</th> <th>まったく</th> <th>わからない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4</td> <td>40</td> <td>57</td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>39</td> <td>56</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	学年	とても	だいたい	あまり	まったく	R4	57	38	4	1	R5	55	40	5	1	学年	とても	だいたい	あまり	まったく	わからない	R4	40	57	2	1		R5	39	56	2	2	
		学年	とても	だいたい	あまり	まったく																													
R4	57	38	4	1																															
R5	55	40	5	1																															
学年	とても	だいたい	あまり	まったく	わからない																														
R4	40	57	2	1																															
R5	39	56	2	2																															



【成果と課題】

「集会や行事などいろいろな活動に積極的に取り組みました」の問いに対して児童は、A そう思う62%B 大体そう思う34%あわせて95%の回答になっています。今まで自粛してきた行事が行えるようになったことや各委員会が中心となり学校生活を充実させるための取り組みを考え行ってきました。そのため子供たちは、自分たちで活動を作り上げたという充実感や達成感をもつことができたと思われます。

今後も子供の思いを大切にしながら自主的な活動を充実させ、それらの活動を通して、見通しをもって行動する力や、物事を計画的に進める力を育てていきたいと思ひます。

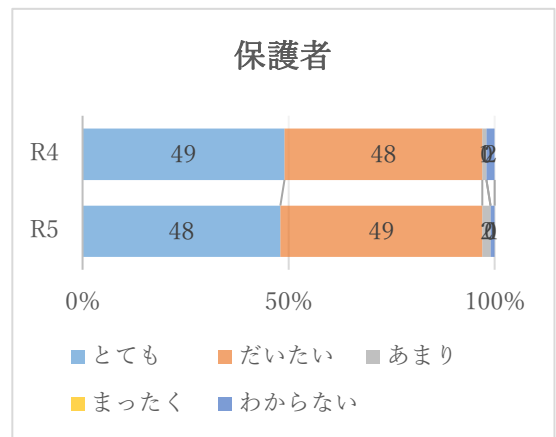
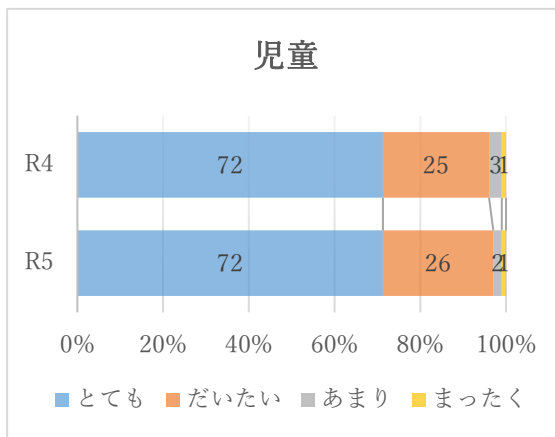
【具体的な取り組み】

栗木台小学校版の災害対応マニュアルを教職員で共通理解するとともに、保護者向けに「学校安全ナビ」を配付し、危機管理の意識向上を図っています。

防災意識を高め、どのような非常災害においても、児童が自分の身を守る行動がとれるようにするために、地震や火災などの非常災害を想定した訓練を実施します。

避難訓練や保護者への引き渡し訓練、シェイクアウト訓練のいずれかを毎月実施します。また、交通事故を未然に防ぐために、交通ルールを知り、安全に自転車を運転するための交通安全教室を1年生と4年生で実施します。

不審者が侵入した際の身の安全を確保するための適切な行動について学ぶ、防犯研修や防犯訓練を実施します。



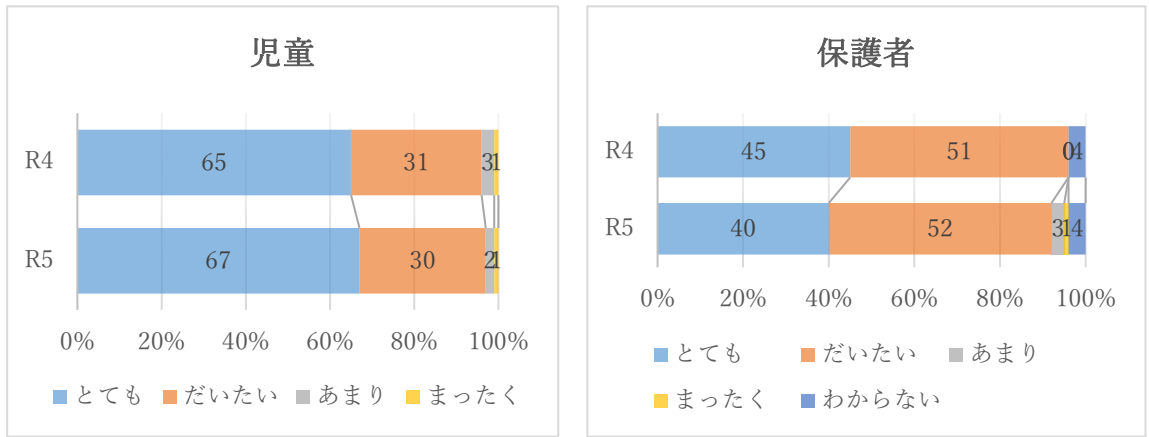
【成果と課題】

災害対応について教職員で共通理解をし、保護者への案内を行いました。地震・火災訓練や、引き渡し訓練、シェイクアウト訓練などを定期的に行い、児童や教職員の動きの確認ができました。児童も動きに慣れてきていたが、出てきた反省は次の回に生かすようにしました。より様々な場面での訓練を検討していく必要もあると考えられます。不審者対応訓練で、児童や教職員の動きを確認できました。反省は、次年度に生かすようにします。

避難訓練やシェイクアウト訓練などを、今年度の場面設定をもとにして、さらに様々な場面で行っていきます。例えば、予告なしでの中休み避難訓練や、今年度に引き続いての掃除時間などでの実施を検討していきます。

【具体的な取り組み】

安全で快適な学校施設であるために、毎月教職員で安全点検を行っています。気づいたことは教職員だけでなく、専門家の目でも危険がないかを確認し、必要に応じて修繕を行います。昨年度、いくつかの遊具が撤去されました。長期にわたって学習でも使用できる遊具を新設できるよう働きかけていきます。



【成果と課題】

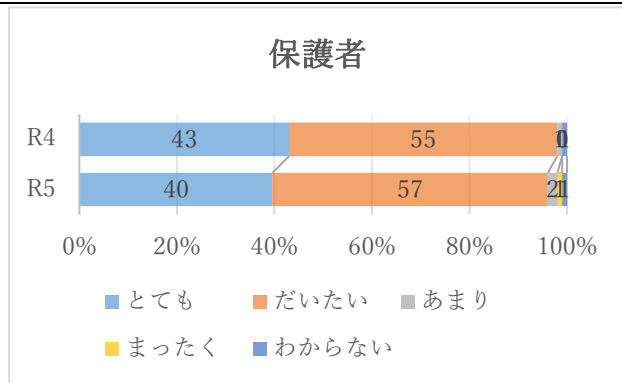
施設整備の面で大きな支障なく過ごせたのはよかったです。気になる箇所は毎月の点検で報告されるが、微細なものは迅速に修繕を行うことができています。一部委員会の審査を待っているものもあるので、粘り強く交渉していきます。今年度は放送設備やプールのトイレ、防災設備などが使いやすくなりました。

教室内の着替え用カーテンのように児童の学習環境を考えるうえで必要な物品に関しては、PTAからの寄付を有効活用させていただき、早期に設置できるように考えていきます。今後も修繕に関しては委員会報告を適切に行い、粘り強く働きかけるよう努めます。遊具新設に関しては再生整備計画に基づいて進めていけるよう働きかけます。

【具体的な取り組み】

今年度も、ホームページを通して、学校だよりや学年だよりなど学校からの情報や子どもたちの様子を家庭や地域に配信しています。今後も、学校での子どもたちの様子を知って安心してもらえるよう、各学年の子どもたちの取り組みを、写真や文章で伝えていきます。

保護者のみに「学校は、学校説明会（今年度は紙面）や懇談会、個人面談、またホームページや「学校だより」等を通して、教育方針や子どもたちの様子を保護者の皆様に伝えていると思いますか。」という質問を設定しました。



【成果と課題】

ホームページをほぼ毎日更新し、子どもたちの様子を積極的に伝えてきました。保護者の方がホームページを閲覧する機会も増えてきました。特に自然教室や修学旅行の時に、子ども様子をリアルタイムで伝えていく取り組みについて、保護者の方から好評をいただいたので、今後も続けていきたい。

今後も、ホームページを通して、子どもたちの様子を積極的に伝えていきたい。また地域にもホームページについての周知を図り、学校や児童を共に見守り、育てていくという思いを伝えていきたい。